

Studies on the Synthesis, Structures, and Properties of Aza/BODIPY Analogues and Their Application as a Functional Chromophore

鹿毛, 悠冬

<https://hdl.handle.net/2324/4060122>

出版情報：九州大学, 2019, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（3）

氏 名	鹿毛 悠冬			
論 文 名	Studies on the Synthesis, Structures, and Properties of Aza-BODIPY Analogues and Their Application as a Functional Chromophore (aza-BODIPY類縁体の合成、構造、および物性と機能性色素としての応用に関する研究)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	古田 弘幸
	副 査	九州大学	教授	安田 琢磨
	副 査	京都大学	教授	大須賀 篤弘
	副 査	九州大学	准教授	清水 宗治

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、バイオイメージングや有機光エレクトロニクスへの展開が期待される PPAB の光物性の根幹となる置換基効果を解明し、その知見を基に新たな光物性の発現に成功すると共に、aza-BODIPY 合成を拡張し、新規分子骨格の創出にも成功している。さらに、色素分子をストッパーに持つ新規ロタキサン分子を合成し、色素分子骨格構造と超分子形成挙動との関係性の詳細を明らかにしている。本研究で得られた知見は、機能性色素分子を設計・合成する上で重要な指針を与える有益なものであり、機能性分子材料化学上価値ある業績であると認める。